

オリンピック・パラリンピックを応援 —フラワーレーンプロジェクト—



オリパラを応援する「フラワーレーンプロジェクト」という取組で5年生の子どもたちがアサガオの種まきをしてくれました。職員玄関前に120鉢あります。

休み時間に5年生が分担して水やりをしています。7月中旬にオリンピック会場に搬送され、オリンピックが終わったらまた、戻ってきます。搬送時にはメッセージカードもつけます。



このプロジェクトは、各競技会場入口に設置された、会場に入場する観客のセキュリティ検査を行うためのエリア内（歩行者スクリーニングエリア、通称＝PSA）で、観客の列（レーン）を作るために一般的に用いられる金属製のフェンスやベルトパーテーションの代わりに、アサガオ等の鉢植えを並べるというものです。使用する花は子どもたちが種まきから行い育てたもので、PSAに並べる際は花に応援や歓迎のメッセージカードを添えて、世界各国・日本各地からの来場者をもてなすそうです。